

地域の教育振興のために

近江鍛工株式会社（坂本宏之代表取締役社長）は、教育の振興に役立ててほしいと御厨中学校、青島小中学校、御厨小学校、星鹿小学校へ寄付金を贈呈しました。

同社は平成17年度以降、星鹿、御厨地域の学校に毎年寄付を行っています。

11月17日は、同社長崎工場の太田富穂副工場長が御厨小学校を訪れ、「学校図書への購入費などに活用してください。たくさん本を読めば大人になってから、きっと役に立ちます」と話し、代表児童に寄付金を手渡しました。



まちのモニュメントを清掃

松浦ロータリークラブ（角田良夫会長）は11月17日、市内で清掃活動を行いました。

この日は、同クラブの会員21人が集まり、文化会館イベント広場にあるなぎなたモニュメントを研磨剤を使って綺麗に磨き上げました。また、郵便局前にある同クラブの記念碑周辺では、脚立や剪定ばさみを持ち寄り、剪定作業や清掃活動を行いました。

参加した角田会長は「綺麗になって、市民の皆さんに喜んでもらえるのが嬉しいです」と話しました。



声援を受けて元気にプレー

第15回松浦地区少補連小学生バレーボール大会（松浦地区少年補導員連絡協議会、松浦市小学生バレーボール連盟主催、松浦警察署共催）が11月20日、福島体育館で開催されました。

この日は、市内の小学校から7チーム、約70人の児童が参加しました。選手たちは、チームメイトや家族からの声援を受けながら、熱戦を繰り広げました。大会の成績は次のとおりです。

【優勝】鷹島クラブ

【準優勝】泉クラブ

【第3位】新星クラブ、福島クラブ



地域を守ってくれてありがとう

今福保育園（椛島洋子園長）は11月18日、松浦警察署の警察官2人、松浦消防署の消防士2人を招待し、日頃から地域を守る職業である警察官と消防署職員に対して、感謝の気持ちを表したいと、交流会を実施しました。

この日は、ばんだ組の20人が和太鼓、きりん組の17人がマーチングを披露し、きりん組は画用紙に色紙を貼りつけて作成したパトカーと消防車のイラストをプレゼント。その後、園児たちは「どうしたらおまわりさんになれるの」「なんで消防士になったの」と質問するなど、交流を深めました。



まちの話題

日頃の活動の成果を披露

松浦市民文化祭（舞台発表）が11月21日、文化会館で開催されました。

市民文化祭は、市民が日頃の文化芸術活動の成果を披露するとともに、文化芸術と身近に触れ合える場として、毎年開催されています。

この日は、市内各地域で活動するバレエ、日本舞踊、詩吟、ダンス、三味線、太極拳などの14団体、136人が出演。美しい舞や演奏などを披露し、観覧者からは出演者に向けて大きな拍手が送られました。



丹精込めた寒蘭が並ぶ

第60回松浦蘭友会寒蘭展示会が11月20日、21日、道の駅「松浦海のふるさと館」漁村体験学習施設で開催されました。

この展示会は、会員相互の親睦と栽培技術の向上を目的に開催されています。会場には会員が育てた寒蘭約100点が展示され、来場者を楽しませました。また、作品は花の姿、形、色の良さを基準に評価され、各賞が決定されました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

【総合優勝】川上高尾（平戸市）

【準優勝】中村勇（御厨町）、新見重（志佐町）



平和への誓いを新たに

令和3年度戦没者追悼式が11月25日、文化会館で執り行われました。

式には、遺族や関係者など約100人が参列。遺族代表などが祭壇に献花や献吟、献奏を捧げ、1,176柱の冥福を祈りました。

松浦市連合遺族会の八谷健司会長は「私たちは、先の大戦で学んだ幾多の貴重な教訓を最大限に生かし、平和の大切さや、戦争の悲惨さを強く語り継ぎ、世界平和の実現に尽力していかなければなりません」と追悼の詞を述べました。



地元の漁業を学ぶ

県主催の水産教室が11月24日、鷹島小学校の5年生17人を対象に新松浦漁業協同組合の鷹島支所荷捌所などで開催されました。

この取り組みは、漁業の担い手確保や育成を支援する事業の一環として毎年開催されており、児童たちは、トラフグやカワハギを生け簀から水揚げする体験を行いました。

他にも漁に使うロープの結び方やマグロの養殖について楽しく学び、最後は、包丁を使って魚のさばき方や調理方法を学習し、地元の魚を美味しく味わいました。

